



2018年6月13日

SOMPOホールディングス株式会社

事業創出プラットフォーム「SOMPO D-STUDIO」の設立 ～企業の枠を超え、「人材」×「データ」で新事業創出～

SOMPOホールディングス株式会社（グループCEO取締役社長：櫻田 謙悟、以下「SOMPOホールディングス」）は、データサイエンティスト人材を中心に新事業を創出するプラットフォーム「SOMPO D-STUDIO」を本日設立します。本プラットフォームは、SOMPOホールディングスグループにとどまらず、ビッグデータを保有しビジネスへの活用を検討している企業や行政・研究機関、起業家、スタートアップ企業、ベンチャーキャピタル、フリーランス、副業をされている方など多様な組織・人材が参加し、有機的な繋がりを基盤としたオープンイノベーションで新ビジネスを創出することを目指します。

1. 背景

SOMPOホールディングスは、「SOMPO Digital Lab（デジタルラボ）」を東京・米シリコンバレー・イスラエルに構えるなどデジタル戦略を強化しており、国内外でのイノベーションの創出による成長を目指しています。そこで、ビジネスにおけるビッグデータ・AI活用の一層の強化のためには「人材」が将来の競争力向上に直結すると考え、2017年4月には、実践的データサイエンティスト養成講座『DATA SCIENCE BOOTCAMP』を開講し、これまで金融機関や総合商社、建築会社、研究職、経営コンサルタント、臨床工学士などさまざまな職歴の社会人50名以上を育成してきました。

これらの人材に加え、新事業創出に関心のある企業や人材がプロジェクト単位で集まり、スピード感をもって事業化を目指すことで、イノベーションを加速させることを狙いとして、プラットフォームを設立します。

2. 概要

SOMPOホールディングスがオーナーとなり、1つの企業の枠を大きく超えた「SOMPO D-STUDIO」を設立します。「SOMPO D-STUDIO」は新たなイノベーションを創出する場として、既存事業へのデジタル技術の活用にとどまらず、「安心・安全・健康」に関する社会課題を起点とする新事業の創出を目的として、デジタル技術やデータ分析に強い『DATA SCIENCE BOOTCAMP』の卒業生“Boot Campers”のほか、デザイナーやエンジニア、新事業創出に関心のある企業や行政・研究機関、スタートアップ企業、実力を活かしたいフリーランスなどが有機的・オープンに連携してプロジェクトを立ち上げ、サービスや事業のアイデアを具現化していきます。

有望な事業については、SOMPOホールディングスやその他ベンチャーキャピタルからの投資により事業化を支援します。

3. 事業創出の流れ

事業化までのプロセスは、検討テーマや活用するデータにより異なるため、アプローチ方法はプロジェクト単位で自由に進めていただきます。想定される主な流れは以下のとおりです。

- ① 解決したい社会的課題 x データ x データサイエンティスト（SOMPOホールディングスやフリーランス）でデータにもとづくサービスの仮説を立案
- ② エンジニア x デザイナーで試作し、ユーザー検証を実施
- ③ SOMPOホールディングスやベンチャーキャピタルからの投資による事業化

<具体例>

- ・モビリティ（Mobility as a Service：MaaS や移動など）に関して、インバウンド等の観光客が激増したことによる交通渋滞を課題に持つ自治体、人の移動や車の走行に関するデータを持つ企業、そのビッグデータを解析するデータサイエンティストが集まる。
- ・そこで渋滞緩和のための最適な動線を示す AI アルゴリズムを構築し、エンジニアとデザイナーが AI を実装したプロトタイプを作り、SOMPOホールディングスやユーザーとの接点を持つ企業等が検証する。
- ・検証結果をもとにSOMPOホールディングスやベンチャーキャピタルが事業化の可否を判断し、有望な案件に投資を行い、新サービスを事業化する。

4. 今後の展開

「SOMPO D-STUDIO」は大きく分けて「モビリティ」「ヘルスケア」「スマートホーム・スマートシティ」の3分野における事業創出を目指します。当初は「モビリティ」からスタートし、「ヘルスケア」「スマートホーム・スマートシティ」へと順次拡大していきます。

活動の場として、WeWork[※]などオープンなコラボレーションができるスペース、AI 開発やビッグデータ分析のために最新テクノロジーを活用できるデジタルラボなど、テーマに応じて複数拠点で活動していきます。

※WeWork は、ニューヨークに本社を置き、全世界 22 カ国 74 都市 274 カ所以上の地域でコミュニティ型ワークスペースを提供・運営する企業。スタートアップから大企業まで、25 万人以上のメンバーが参加しており、世界中のコミュニティを通じて、お互いに刺激し合えるコラボレーション環境を提供。日本では 2018 年 2 月、東京の六本木に初めての拠点をオープンし、その後拠点を拡大している。

5. 「SOMPO D-STUDIO」サポーター

「SOMPO D-STUDIO」の取組みに賛同いただき、現在、参加が決定している“サポーター”は以下のとおりです。

今後、企業や行政・研究機関、起業家、スタートアップ企業、ベンチャーキャピタル、フリーランス、副業をされている方などの参加を募集します。

<企業サポーター>

・G's ACADEMY TOKYO (ジーズアカデミートウキョウ)

デジタルハリウッド株式会社が 2015 年 4 月に設立した、エンジニア起業家養成スクールです。『Data Science BOOTCAMP』を SOMPOホールディングスと共同開催しており、“Boot Campers”コミュニティの運営および事業創出全般をサポートします。

・Trōv, Inc. (トロブ)

米シリコンバレーのスタートアップ企業で、必要な時に必要なアイテムにだけ付保できるオンデマンド型保険を提供し、フィンテック分野で注目を集めています。スマートフォンアプリで保険加入から事故の連絡等を行う仕組みを提供しており、デジタルを活用した破壊的ビジネスモデルの先駆者として事業創出をサポートします。

・株式会社ヤマップ

登山アウトドア向けスマートフォンアプリ・WEB サービスを開発・運営している企業で、YAMAP に蓄積されたデータによる新ビジネス・サービス企画を目的として参画します。

・レイ・フロンティア株式会社

位置情報サービスの開発と、実社会から独自に収集したデータより位置情報分析を行っています。人の理解を追求するテクノロジーカンパニーで、行動情報を活用した新ビジネス・サービス企画を目的として参画します。

・東日本電信電話株式会社 (NTT東日本)

全国に広がる安全性、信頼性の高いデータセンターや通信ビルを保有しており、SOMPOホールディングスの AI 活用のパートナーとして、Deep Learning に関する実証実験を共同で行っています。「SOMPO D-STUDIO」の AI 実験インフラをサポートします。

<個人サポーター>

- ・ Abies Ventures 株式会社 代表取締役マネージング・パートナー 山口 冬樹 氏
- ・ 株式会社インスパイア マネージングディレクター 池田 誠也 氏
- ・ TransLink Capital パートナー 土佐林 淳 氏
- ・ 札幌医科大学附属病院 医療情報企画室 副室長 廣田 健一 氏
- ・ 株式会社ジーンクエスト 代表取締役 高橋 祥子 氏 (BOOTCAMP メンター)
- ・ レイ・フロンティア株式会社 取締役 COO 澤田 典宏 氏 (BOOTCAMP メンター)
- ・ 産業技術総合研究所 上級主任研究員 蔵田 武志 氏 (BOOTCAMP メンター)
- ・ 株式会社キカガク 代表取締役社長 吉崎 亮介 氏 (BOOTCAMP メンター)

< “Boot Campers” >

『Data Science BOOTCAMP』第1回、第2回卒業生のうち参加希望者

【公式ページ】

<https://sampo.io/d-studio/>

以上

<参考1> 「SOMPO D-STUDIO」のロゴ



<参考2> 「SOMPO D-STUDIO」のイメージ

人とデータを起点とした事業創出の場

アイデアや課題を持つヒト、顧客接点やデータを持つヒトをオープンに吸引し、ソリューションを実現できるヒトたちが、アイデアをクイックに具現化する

